

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 869

事業名	南あわじ温泉郷連絡協議会補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	産業振興部	商工観光課		款	商工費・7款
電話	0799 - 37 - 3012			項	商工費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	なし	目	観光振興費・3目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職_食_づくり_夢あふれ_働く場を生み出すまちづくり_			
	まちづくりの目標	行って楽しい交流・感動の舞台【観光・交流】			
	施策目標	魅力あるふるさと資源を最大活用し、滞在性とアクセス性を高める			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)			
		南あわじ温泉郷連絡協議会(南淡温泉組合9名、うずしお温泉組合26名、サンライズ淡路、さんゆ〜館、南あわじリフレッシュ交流ハウス計38名)			構成人数(人) 38
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)			
		協議会構成員による南あわじ市の温泉観光地づくりの推進、魅力ある温泉(泉源)の確保、市民の健康・保養の振興、観光協会・観光施設等との連携を密にし、南あわじ市の観光誘客に努め、官民の共生を図り、産業の健全発展を目的とする。			
	実施内容	(主な事業、活動内容等)			
	1. 南あわじ市温泉観光づくりの推進、健康、保養観光のための調査研究 2. 南あわじ市温泉の保全、整備、管理 3. 温泉を主体にした観光宣伝の実施 4. 安心、安全、信頼のおける温泉地の情報発信及び施設等管理体制の確立				
団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など)				
	南あわじ市の各温泉組合(南淡温泉組合9名、うずしお温泉組合26名、サンライズ淡路、さんゆ〜館、南あわじリフレッシュ交流ハウス計38名)の組織を持って構成する。 役員内訳(会長1名、副会長1名、会計1名、監事2名)				
補助金算出根拠	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体	<input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 () <input type="checkbox"/> 旧町単位 () <input type="checkbox"/> 旧村単位 ()	
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし			
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から				

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	6,500	4,500	4,500	3,825
	南あわじ温泉郷連絡協議会補助金	0	4,500	4,500	3,825
	観光協会補助金のうち南あわじ温泉郷連絡協議会分	6,500	0	0	0
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	6,500	4,500	4,500	3,825
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	299	241	241
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)		10	8	8
	事業量2(事業に要した人数)		1	1	1
	年間経費([A]+[B])	6,500	4,799	4,741	4,066
「構成人数」一人当り経費 (千円)	171.1	126.3	124.8	107.0	
受益者人数(40)一人当り経費(千円)	162.5	120.0	118.5	101.6	
経費に関する 補足説明	平成17年度は観光協会より6,500千円補助金を受給				

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) テレビ・雑誌等による「南あわじ温泉郷」の広報宣伝、案内看板等の設置、泉源の保全に努め、南あわじ温泉郷への集客に寄与している。 しかしながら、一朝一夕にはネームバリューを獲得するまでにはいたらず、今後も継続的な取り組みを展開することにより、「南あわじ温泉郷」をPRし、集客アップにつなげていく。	自己 点 評 価 (5)						
	3							
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 「温泉」をキーワードに南あわじの観光地の活性化を図り、継続的優良リピーターを確保し、「南あわじ温泉郷」のブランドアップを進めるためには南あわじ温泉郷連絡協議会と行政との共生が必要である。 自主財源もある程度確保はしているが、観光宣伝の推進、泉源の確保、利用促進等、継続的な補助も必要である。	自己 点 評 価 (5)						
	4							
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 観光地としての活性化を図る上で「温泉」というキーワードは大きなウエートを占めている。 名称も泉質も効能もまちまちであるが、「南あわじ温泉郷」と名称を統一して広報・宣伝を継続的に行うことにより、知名度が上がり、集客数も伸びることを期待する。 温泉街に賑わいがあると、地元への波及効果も大きく、活性化へも結びつく。	<p>評価グラフ</p> <table border="1"> <caption>評価グラフ</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用対効果</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>必要性</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	項目	評価	費用対効果	3	必要性	4
項目	評価							
費用対効果	3							
必要性	4							

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>「南あわじ温泉郷」のブランドアップが観光地としての魅力を高める。広報・宣伝、泉元保全を継続していく上からも、現状維持で継続する必要がある。</p>	<p>「南あわじ温泉郷」のブランドアップ化を進めていく上からも、息の長い地道な活動がやがて実を結ぶものと確信し、現状を維持することで地元への波及効果も期待し、継続して進めていく。</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>南あわじ温泉郷連絡協議会予算における市補助金の割合は非常に大きく、仮に補助金の削減あるいは廃止となると、南あわじ温泉郷の広報・宣伝、泉源保全ができなくなり、観光客が減るだけでなく、観光業界を取り巻くさまざまな分野で影響がでると思われる。</p> <p>また、「南あわじ温泉郷」をブランドアップさせるためには継続的な取り組みが重要であり、ようやく認知されかけてきたものが無駄になる。</p>	